令和8年度

学 力 向 上 プ ラ ン

【後期】

上尾市立原市小学校

上尾市立原市小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

【学校教育目標】
豊かな心を育み、自ら学び
たくましく生きる子

【学校課題研究主題】
「主体的にねばり強く何事にも取り組む児童生徒の育成」
-つながりを大切にした小中一貫教育-

学力・学習状況調査の結果

R8 全国学力・学習状況調査	R8 埼玉県学力・学習状況調査	R7 上尾市立小・中学校学力調査
・国語は言葉の特徴や使い方に関する事項や短答式の問題形式で、全国平均と同等以上の成果が見られた。 ・国語は、情報を整理し、自分の考えを文章にまとめて表現する力に課題がある。 ・算数は思考・判断・表現が全国平均を上回る一方、基礎的な計算や数量関係の把握、立式・記述に課題がある。	・国語・算数とも、学習方略や非認知能力は県平均と同等以上で、主体的・粘り強く取り組む姿が見られた。 ・国語は、文章の要点を捉え、情報を整理して表現する力に課題がある。 ・算数は図形に成果が見られる一方、数と計算、データの活用、根拠を説明する力に課題がある。	・国語、算数ともにほとんどの学年で目標値を下回っている。 ・国語では、物語の読解や聞き取りに成果がみられる一方、全学年で漢字や文章を書く力に課題がある。 ・算数では、図形や基礎計算は定着しているが、グラフや割合、文章問題の立式、活用に課題がある。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①読解力、計算等の基礎的・基本的な学力 ②資料（図、表、文章等）について、内容を正しく理解する力	③相手や目的、意図に応じて筋道の通った文章を書くための文章の構成を考える力、表現する力 ④既習事項と関連付けて、課題を発見し解決を図る力	⑤学習方略や学習内容等、自らの学習を振り返る力 ⑥自己調整能力、非認知能力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
○基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、定着させる授業づくり ・個別最適な学びの充実 ・適用問題による学習内容の確実な定着 ・ＩＣＴ端末を活用した学習の積極的な実施	○主体的・対話的で深い学びの中で、課題解決する力や、自分の考えを表現する力を育成する授業づくり ・資料から読み取ったことを踏まえて、自らの考えをもち、他者に伝える活動の充実 ・見通しと振り返りの活動の必須実施 ・協働的な学びの充実 ・課題発見または課題解決において、既習事項と関連付けたり、教科等横断的な視点から考えたりできる深い学びの実現	○各教科等において、効果的な課題提示を行い、児童の意識を授業に集中させる授業づくり ・すべての教科等における振り返りの充実 ・個の考えに合わせた学習方略を選択できる授業展開 ・学習方略や非認知能力を高めるための意図的な教師のフィードバック ・ほめる教育を推進し、分かったできた喜びを称賛しあう雰囲気の醸成

本校の特色ある取組	家庭教育との連携
●カリキュラム・マネジメントを意識した教科授業との関連性のある年間指導計画の作成 ●特別支援学級との交流給食及び交流学習を定期的に実施することで、通常学級での特別支援教育を推進 ●ホームページを活用した積極的な情報発信 ●管理職による全教職員の授業参観、指導方法に関する指導の実施 ●小中一貫教育の推進 ●読み聞かせの充実	●自主学習の推進、指導の充実 ●個人面談の実施（６月及び１２月） ●さわやか相談日（教育相談）・懇談会の効果的な活用 ●ホームページを活用した積極的な情報発信 ●さわやか応援団（学校応援団）の積極的活用 ●家庭との連絡手段のデジタル化

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①読解力、書き、計算等の基礎的・基本的な学力 ②資料（図、表、文章等）について、内容を正しく理解する力	③相手や目的、意図に応じて筋道の通った文章を書くための文章の構成を考える力、表現する力 ④既習事項と関連付けて、課題を発見し解決を図る力	⑤学習方略や学習内容等、自らの学習を振り返る力 ⑥自己調整能力、非認知能力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、③、④	①平仮名、片仮名、漢字に、生活の中で接する機会を作ることで興味をもって学ばせ、繰り返し練習するなどして、正確に読んだり書いたりする力を身に付けさせる取組 ③助詞を正しく使ったり、語と語や文と文の続き方に注意したりして、自分の思いや考えをのびのびと書くことができる、文作り・日記の学習の取組 ④授業の導入で、既習事項を確認し比較する取組	
算数	①、②、④	①授業における習熟の時間を活用し、計算問題に多く取り組ませたり、具体物を使ったりすることで基礎・基本の確実な定着を図る取組 ②自分の考えを図や表、文章を使って、説明させる取組 ④授業の導入で、既習事項を確認し比較する取組	
生活	③、⑤	③身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、体験や活動を通して考えたことを伝え合う取組 ⑤自らの学習を振り返るためにカードや発表など、さまざまな方法の中から選ばせる取組	
音楽	①	①範唱を聴いて歌ったり、鍵盤ハーモニカ等の楽器を演奏したりすることで、リズム感を育てる取組	
図画工作	③、④	③作成する前に学級全体でテーマから考えられるストーリーを想像させ、イメージを膨らみやすくする取組 ④色・形・イメージを基に、いろいろな技法や材料等を積極的に活用して表現する取組	
体育	①	①運動の系統性を意識して、様々な動きを身に付けさせる授業の取組	
英語活動	③	③歌やゲームを多く取り入れ、楽しんで活動できるようにする取組	
特別の教科　道徳	⑥	⑥授業で扱う内容を自分事として捉え、振り返る取組	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①読解力、書き、計算等の基礎的・基本的な学力 ②資料（図、表、文章等）について、内容を正しく理解する力	③相手や目的、意図に応じて筋道の通った文章を書くための文章の構成を考える力、表現する力 ④既習事項と関連付けて、課題を発見し解決を図る力	⑤学習方略や学習内容等、自らの学習を振り返る力 ⑥自己調整能力、非認知能力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、③	①目的意識をもち、話の中心を捉えながら相手の話を聞く取組 ③文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもち伝え合う取組	
社会	②、③	②表やグラフ、地図から読み取る時間を重視した取組 ③資料から読み取ったことやそこから考えたことについて、自分の言葉を使ってまとめて伝える取組	
算数	①、④	①学習内容を実生活に関連付けて繰り返し定着を図る取組 ④実際に操作させ、量感や空間認識能力を養う取組	
理科	④	④既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を身に付けるために、自分の考えを書いたり、話したりする取組	
音楽	②	②歌詞の内容を理解して想像させるなどし、曲の雰囲気を感じ取らせる取組	
図画工作	③、④	③友達の作品のよいところを見つけて伝えたり、自分のイメージしたことを絵や言葉で伝える機会を増やしたりする取組 ④色・形・イメージを基に、これまでに学習した技法や材料等を積極的に活用して表現する取組	
体育	⑤	⑤自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫し、伝え合う取組	
外国語活動	③	③日本語と英語の違いや面白さに気付き、自分の思いを英語で伝え合う取組	
特別の教科　道徳	⑥	⑥自己を見つめ、多面的・多角的に考える活動の中で、自分の考えを伝え合う取組	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①読解力、書き、計算等の基礎的・基本的な学力 ②資料（図、表、文章等）について、内容を正しく理解する力	③相手や目的、意図に応じて筋道の通った文章を書くための文章の構成を考える力、表現する力 ④既習事項と関連付けて、課題を発見し解決を図る力	⑤学習方略や学習内容等、自らの学習を振り返る力 ⑥自己調整能力、非認知能力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、③	①授業での読む活動を通して、内容を理解させるための音読を充実させる取組 ③話合いの場と自分の意見を伝える場、発表する場を意図的に設定し、自分の考えを表現する取組	
社会	②	②写真や資料、図などの資料から何が読み取れるかを確認する取組	
算数	①、④	①習熟の時間を確保し、計算の基礎的・基本的な定着を図る取組 ④導入で既習事項を振り返り、本時の学習へと繋げる取組	
理科	④、⑥	④実験の予想や考察の場面において、既習事項や結果を比較・関係づけたり、グループで意見交換したりし、より妥当な考えをもてるようにする取組 ⑥実験前に見通しを立て、実験結果をもとに根拠ある考察を行う取組	
音楽	③	③曲想を感じ取りお互いのパートを聴き合いながら、自然で無理のない歌い方で歌唱する取組	
図画工作	③	③想像したこと、見たことから表したいことを見つけたり、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどを感じ、用途などを考えたりする取組	
家庭	④	④日常生活の中で既に知っていることでも言葉として整理し、再確認する取組	
体育	①、⑤	①指示を短くして運動量を確保したり、主運動につながる動きをルーティン化したりする取組 ⑤距離や速さなどの目標を自ら設定し、成功体験を積み重ねる取組	
外国語科	③	③どんな場面で使う英語の表現かを明確にする取組 ③自分の思いを積極的に英語で伝える取組	
特別の教科　道徳	⑤	⑤今後の生活にどのように生かすのか、自分がどのように行動していくのか、自分自身を振り返る取組	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

（２）教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
●カリキュラム・マネジメントを意識した教科授業との関連性のある年間指導計画の作成	・カリキュラム・マネジメントを意識して、年間指導計画の改善を図る。「どの教科の」「どの学習と」教科外の学習がリンクしているのかを視覚化して分かりやすく指導計画を立てることで、指導の充実を図る。 ・学年ごとに全教科を一覧にした、年間指導計画一覧表を作成し、より見通しをもった指導ができるようにする。
●特別支援学級との交流給食及び交流学習を定期的に実施することで、通常学級での特別支援教育を推進	・毎週火曜日の給食時に、交流給食を行い、交流先の学級の児童と給食の時間を共にすることで、特別支援学級、通常学級の児童それぞれの児童のコミュニケーション能力を高めさせる。
●ホームページを活用した積極的な情報発信	・月に１度学校行事や学年での取組、自主学習の内容などを学校ホームページで配信する。
●管理職による全教職員の授業参観、指導方法に関する指導の実施	・定期的に授業の様子を見回り、必要に応じて指導・助言を行う。 ・全教職員の授業を参観し、指導・助言を行うことで授業力向上を図ると共に、学校課題研究（小中一貫教育）の充実を図るようにする。
●小中一貫教育の推進	・小中一貫した指導方法や行事等の企画・立案とその実現に向けた具体的な取組を推進する。
●読み聞かせの充実	・月に１度、学校応援団の協力を得ながら、読み聞かせの時間を設定し様々な種類の本に触れることができるようにする。

家庭教育との連携	
●自主学習の推進、指導の充実	・年度当初に、学年の実態に応じた課題（家庭学習）の出し方の共通理解を図り、学年が上がるに従って、「自分に必要な学習を」「自分に必要な量」「自分に合ったやり方で」取り組める児童の育成を目指す。 ・課題と、自主学習の違いを明確にし、学年が変わっても児童が混乱することなく家庭学習に取り組めるようにする。
●個人面談の実施（６月及び１２月）	・６月は、主に児童の実態把握、１２月は希望制とし児童の成長について伝える機会とする。個人面談の機会を設けることで、家庭と学校が協力して児童の成長を見守っていけるようにする。
●さわやか相談日（教育相談）・懇談会の効果的な活用	・教育相談日（毎月第２火曜日）、さわやか相談室、相談員、スクールカウンセラーの積極的な活用を行う。 ・保護者が安心して意見を交換できる懇談会を実施する。
●ホームページを活用した積極的な情報発信	・月に１度学校行事や学年での取組、自主学習の内容などを学校ホームページで配信する。
●さわやか応援団（学校応援団）の積極的活用	・地域の方々とともに、保護者の方も多数参加し、教職員も含めた多くの大人で、児童の成長を支援するとともに、指導を行う。
●家庭との連絡手段のデジタル化	・欠席連絡をさくら連絡網で実施、個人面談日程調整アンケート、欠席児童のオンライン授業の参加など、必要に応じてデジタル機器を活用し、よりよい方法を模索していく。